

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2017No.72】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：アントン・ブルックナー

曲名：交響曲第4番ロマンティック

演奏：佐渡裕指揮トーンキューストラ管弦楽団

発売：Avex Classics

No.：AVCL25912

佐渡裕指揮ケルン放送管弦楽団のコンサートに行き買い求めてきた CD です。



ウィーンムジークフェラインザールでの 2016 年のライブ録音です。



【収録曲】

ブルックナー:交響曲第4番変ホ長調 WAB104『ロマンティック』(1878/1880年第2稿)

輸入元の情報を以下に引用します。

「2016年5月、トーンキュンストラ管弦楽団との日本ツアーを大成功させた佐渡裕。佐渡裕&トーンキュンストラ管弦楽団の第3作となるブルックナー:交響曲第4番『ロマンティック』の輸入盤国内仕様をリリース!ブルックナーの9曲の交響曲の中で最も人気の高い名曲、第4番『ロマンティック』に大注目の新録音登場。ブルックナーを看板レパートリーとするトーンキュンストラ管弦楽団、指揮者は音楽監督の佐渡裕。佐渡裕にとっては初のブルックナー録音となる点でも要注目です。(輸入元情報)」

CDの再生は、①PC用USB-CDドライブ→fidata→USBハブ→Sonica DAC (USB入力)の他、意外に音が良いことがわかってきた、②DMR-UBZ1のドライブからの再生も行いました。

ウィーンムジークフェラインザールでのライブ録音ということで、音の分離はさほどではないものの、どこかウィーンフィルのNYコンサートに通じる音の溶け合いとかホルンの響きの豊かさが聴きとれる録音です。

トーンキュンストラ管弦楽団は生演奏を聴いたことはありませんが、オーストリアのオーケストラであり、オーストリアの作曲家のブルックナーはかく演奏すべきというようなアイデンティティを持っているかのような演奏で、ドイツのオーケストラとはちょっと味わいが違うブルックナーです。再生ルートの音に関しては、①のストレートな表現の方が、②よりしっくりきます。

以上